

「志木市雨水管理総合計画(素案)」について

1 意見公募期間

令和8年6月1日(月)から令和8年6月30日(火)まで

2 計画の公開場所

市ホームページ、志木市水道庁舎、防災危機管理課、市民サービスステーション、柳瀬川駅前出張所、いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館

3 意見募集状況

人 数		意 見 件 数
個 人	団 体	
14人	0人	25件

区 分	
◎	意見を反映し、修正・加除(一部を含む)を行ったもの
○	原案のとおりとするもの
△	その他

No	公募意見概要		公募意見に対する市の考え方	区 分
1	第2章2 地形状況	P5 高低差が小さいため、地形条件より、浸水被害は広範囲に分散することが想定される、とあるがこれは新河岸川を挟んだ北側においては地質があまり変わらないので、高低差のみを考慮して「浸水被害は広範囲に分散する」と判断したのか。 例えば、より広い街だと砂地と粘土質な土地が混ざっており、地質による保水性の高低も考慮すると考えていたので疑問に思った。(P14のマトリクス分析評価項目で基準に記載がなかった)	ご指摘の記載は、高低差のみを根拠としたものではなく、流域界や土地利用状況に応じて設定した流出係数等を考慮した内水浸水シミュレーションの結果を踏まえ、総合的に判断したものです。 また、地質による保水性については、単独の評価指標としてマトリクス分析に位置付けてはおりませんが、浸水シミュレーションにおける流出特性の設定を通じて、浸水危険度の評価に反映しています。	○
2	第3章3-1 評価指標	・今回の計画では、「表4 評価指標項目」に国土交通省「雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)」で重視されている「浸水要因」が採用されていない(※国土交通省「雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)」P23「(1) 目的意識の共有化」では、「浸水被害実績」「被害規模・リスク」「浸水要因分析結果」等を参考に地区ごとの対策目標を設定し、重点対策地区を計画的に整備することが示されている)。 ・志木市では内水氾濫が発生している地区が複数存在することから、「浸水するかどうか」だけではなく、「なぜ浸水するのか」という浸水要因を把握し、それに応じた対策を検討することが重要であると考え。浸水要因分析を行わなければ、適切な対策や重点地区の優先順位の設定に影響する可能性があるのではないか。	浸水要因については評価指標として採用してはおりませんが、浸水シミュレーションの実施にあたり分析を行っております。 一方で、浸水要因は複数の要素が重なって発生するものであり、地区ごとに定量的な評価基準を設定することが難しいことから、本計画では評価指標としては採用してはおりません。 なお、浸水要因の分析結果については、重点対策地区の選定や対策内容の検討に活用しております。 また、ご指摘を踏まえ、より分かりやすい表記とするため、素案3-1評価指標に浸水要因を採用しなかった理由について文章を追記いたします。	◎
3	第3章3-1-2 設定(AHP評価値)の分析	・評価項目の選定によって AHP 分析結果が変化することから、「浸水要因」を評価項目に含めなかった理由及びその影響について説明していただきたい。	浸水要因については評価指標に採用していないため、AHP分析における重み付けの対象としておりません。ただし、浸水要因分析の結果は対策内容の検討に活用しております。 また、ご指摘を踏まえ、より分かりやすい表記とするため、素案3-1評価指標に浸水要因を採用しなかった理由について文章を追記いたします。	◎

4	第3章への優先度評価指標	・「浸水要因」が評価項目となった場合、各評価指標の重み付けや優先順位が変化する可能性があると考えられる。	浸水要因については評価指標に採用していないため、AHP分析における重み付けの対象としておりません。ただし、浸水要因分析の結果は対策内容の検討に活用しております。また、ご指摘を踏まえ、より分かりやすい表記とするため、素案3-1評価指標に浸水要因を採用しなかった理由について文章を追記いたします。	◎
5	第3章3-3「表6マトリクス分析評価項目」	・P13 では「資産分布」が評価指標として示されている一方、P14 のリスクマトリクスでは評価項目から除外されている。本計画では評価項目の採用・非採用の判断根拠が十分に記載されていないことから、計画の透明性及び市民との目的意識の共有という観点からも、その判断過程を明記していただきたい。 ・志木第二中学校区には指定緊急避難場所となる小中学校が集中しており、周辺道路は日常の通学路であるとともに、災害時の避難経路でもある。このような公共性の高い施設及び道路については、「資産分布」や浸水リスクの評価に十分反映し、優先度の設定において考慮されるべきではないかと考える。	表6のマトリクス分析評価項目に資産分布の記載がされておりましたが、脆弱性に資産分布も考慮した状態でマトリクス分析を行っておりますので、ご指摘を踏まえ「・人口分布・災害時用配慮施設数・防災関連施設・投資効果・資産分布」と修正いたします。 また、本計画内のAHP評価指標項目では、小中学校を始めとする避難所、消防署、市役所、医療機関、福祉施設、幼稚園などを集計し、その周辺の避難経路も考慮し、「災害時用配慮施設」として取り扱っています。公共性の高い施設及び道路については、災害時用配慮施設で十分反映し、優先度の設定において資産分布と共に検討のうえ重点対策地区を決定いたしました。	◎
6	第3章3-3「表7リスク優先度算定結果」の優先度の影響	・P12 から P14 までの評価指標及び評価項目の設定が変更された場合、「表 7 リスク優先度算定結果」の優先順位に影響が生じないのかについても併せて説明していただきたい。	将来的に、計画の見直しを行う際、評価指標や評価項目の設定が変更された場合は優先順位についても改めて検討することになると考えます。	○
7	第3章3-5 重点対策地区の設定	私は幸町3丁目に約20年間居住しておりますが、この間に2回ほど、大雨により排水が間に合わず、膝上（50cm程度）まで冠水したことがあります。その際は土のうを設置し、自宅への浸水は何とか防ぐことができました。 近年は、以前とは明らかに雨の降り方が変化しており、大雨の予報が出るたびに「次は自宅まで浸水してしまうのではないか」という不安を感じています。 今回、「志木市雨水管理総合計画」を拝見し、浸水対策に取り組まれていることを知り、大変心強く感じました。しかし、災害はいつ発生するか分かりませんので、できるだけ早期に対策を進めていただきたいと思います。 計画を拝見して感じたことを、住民の立場から意見として述べさせていただきます。 ①館第1地区が重点対策地区に指定されていることについて 私が居住する幸町3丁目を含む「館第1地区」が、過去の浸水実績を踏まえて重点対策地区として位置付けられ、優先的に対策が進められることを大変ありがたく思います。	過去の道路冠水被害や浸水シミュレーションを基に、館第一排水区を重点対策地区と位置付けました。 今後、浸水被害の軽減に向けて計画的に対策を進めてまいります。	○
8	第4章 内水ハザードマップについて	「志木市内水ハザードマップ」では、幸町3丁目22番24号付近は30cm以下の浸水想定となっております。しかし、私が実際に経験した2回の冠水では、膝上（約50cm以上）まで水位が上昇したと記憶しています。 この地域は、志木第二中学校と志木第四小学校の間にある排水施設の能力を超えて雨水があふれるに加え、周辺の坂を下り切った低い場所に位置していることが、冠水の大きな要因ではないかと考えています。 浸水実績と想定に差があるように感じますので、現地の状況や過去の浸水実績も踏まえた検証をお願いするとともに、特に排水施設の能力強化について積極的に取り組んでいただきたいと思います。	内水ハザードマップは、国の手法に基づき、関東地域の想定最大規模降雨（時間雨量153mm）を用いて解析想定した降雨条件により浸水シミュレーションを実施し作成しております。 しかしながら、実際の浸水状況は雨の降り方（降雨強度や継続時間）の違い、側溝や雨水桝などの排水施設の状況、周辺施設からの地表面への流出状況、局所的な地形の高低差のような要因などの影響を受けるため、過去の浸水実績と完全に一致しない場合があります。 ご指摘いただいた幸町地区につきましては、過去の浸水実績や地域からの要望も踏まえ、本計画において重点対策地区に位置付けております。今後、浸水被害の軽減に向けて計画的に対策を進めてまいります。	○

9	その他	【志木市「雨水管理総合計画」に対して、志木第二中学校区が持つ課題】 上述のとおり、「表 4 評価指標項目」には「浸水要因」が反映されていない。一方、本地区では、地形や排水状況などの浸水要因と考えられる条件により、年に数回の内水氾濫が発生している(次ページ以降の画像参照)。雨水が流れ込みやすい地形に加え、学校敷地から隣接する市道へ雨水が排水されている状況が見受けられ、この排水経路も周辺道路の内水氾濫の一因となっている可能性があることから、浸水要因分析の中で検証されるべき事項と考える。 また、「表 6 マトリクス分析 評価項目」については、P13 では評価対象となっている「資産分布」が、P14 では評価項目から除外されている。「資産分布」には、指定緊急避難場所となっている公共施設や、その機能を支える周辺道路等も重要な評価対象に含まれると考えられる。 志木第二中学校、志木第四小学校及び志木第二小学校の 3 校はいずれも市の指定緊急避難場所であり、隣接市道は児童・生徒の通学路であるとともに、指定緊急避難場所への避難経路としても利用される道路である。さらに、2027 年度からは、志木第四小学校クローバー門付近の市道が幸町方面の児童・生徒の指定通学路となる予定であり、午後には学童利用児童や中学生の部活動による移動経路としても利用される予定である。このような施設及び道路の重要性が、リスクマトリクスの優先度評価にどのように反映されているのかが計画からは確認できず、懸念を感じている。 志木第二中学校区の学校周辺はもともと、周辺地形の影響により雨水が集まりやすい地区であるが、これに加えて志木第四小学校クローバー門周辺は学校敷地からの排水が重なることで、当該市道へ雨水が集中し、冠水の一因となっており、隣接の学校施設内の浸水対策は講じられている一方で、周辺道路では冠水が繰り返し発生し、周辺家屋への浸水被害も生じている状況が見受けられる。 このような状況を踏まえると、学校施設単体の浸水対策だけではなく、学校用地を含めた地区全体の雨水処理のあり方を検討する必要があると考える。 近隣自治体では、学校施設を活用した雨水地下貯留槽や調整池貯留槽等を整備し、学校用地内で雨水を一時貯留する取組が行われている事例も見受けられるため、国土交通省の事例や他自治体の情報を参照しつつ、安全安心を継続できる計画を策定いただきたい。	浸水要因については評価指標として採用していませんが、浸水シミュレーションの実施にあたり分析を行っております。 一方で、浸水要因は複数の要素が重なって発生するものであり、地区ごとに定量的な評価基準を設定することが難しいことから、本計画では評価指標としては採用していません。 なお、浸水要因の分析結果については、重点対策地区の選定や対策内容の検討に活用しております。 また、ご指摘を踏まえ、より分かりやすい表記とするため、素案3-1評価指標に浸水要因を採用しなかった理由について文章を追記いたします。 また、表6のマトリクス分析評価項目に資産分布の記載がされておりましたが、脆弱性に資産分布も考慮した状態でマトリクス分析を行っておりますので、ご指摘を踏まえ「・人口分布・災害時用配慮施設数・防災関連施設・投資効果・資産分布」と修正いたします。 本計画では、館第一排水区及び館第二排水区を重点対策地区として位置付けており、短期・中期の期間において優先的に対策を進める方針としております。 志木第二中学校区周辺の浸水に関するご意見につきましては、重点対策地区における具体的な対策内容を検討する際の参考とさせていただきます。 また、ご提案いただいた学校施設を活用した雨水貯留施設、雨水浸透施設等につきましても、今後の施設整備や浸水対策を検討する際の参考とさせていただきます。 なお、本計画は社会情勢の変化や都市計画の見直し、新たな技術導入等を踏まえ、必要に応じて見直しを行ってまいります。	◎
10	その他	【近隣自治体の雨水管理計画について】 ・近隣自治体である新座市の雨水管理総合計画では、国土交通省ガイドラインを踏まえ、評価指標の設定や重点地区選定の考え方、評価項目の採用理由等について、市民が理解できるよう具体的に記載されている。このような説明は、市民との目的意識の共有というガイドラインの趣旨にも沿うものと考ええる。 ・本計画においても、志木市の地域特性を踏まえた独自の判断は尊重されるべきである。一方で、ガイドラインと異なる評価項目を採用した場合又は採用しなかった場合には、その判断根拠及び考え方について、市民が理解できるよう記載していただきたい。	ご指摘を踏まえ、素案3-1評価指標に採用しなかった項目について文章を追記いたします。	◎
11	その他	全般 排水機場の強化についてというページにおいて、令和7年度に以下の工事を行う旨がある。現在、これらの工事の進捗率はどうなっているか。 ・田子山排水機場:排水ポンプ更新、制御盤更新 ・郷土排水機場:排水ポンプ更新 ・下の谷排水機場:排水ポンプ修繕 ・味場排水機場:電気設備更新、除塵設備設置 ・田子山下ポンプ場:排水ポンプ更新、制御盤更新 ・谷津地調整池ポンプ場:電気設備更新	市ホームページに記載されている、排水機場の強化につきまして、令和7年度予定の事業は、すべて完了しております。	○

12	その他	お世話になっております。表に出ることの少ない地道なインフラ管理業務、いつもありがとうございます。 館第一排水区の館地区は、大降雨時に幸町および新座市から表流水流入が想定より多くなり排水が困難となり、内水氾濫等の発生する確率が高いと危惧されます。 2019年台風19号では、所沢の最大時間雨量が51.0mm/h(12日20時58分)とほぼ下水設計降雨強度でありながら、マロニエ通り東上線付近、新座市志木陸橋南付近に道路冠水が発生したと聞いています。 下流の洪水氾濫時に、館第一排水機場の排水量の規制や停止(2023年越谷水害のような事案)の対策が十分でしょうか。 幸町から雨水管満杯とエアレーションによる館地区のマンホール蓋の飛散などが危惧されます。エア抜き管設置が必要なのではないのでしょうか。 新座市の雨水排水が下流の志木に迷惑をかける計画や管理がなされているのでしょうか。査察とは行かなくても、議員の視察ぐらいして良いかもしれません。新座市は、下水道台帳をWeb公開していません、何か隠したいことがあるのでは、思う人がいるかもしれません。 雨水枡など清掃や管理がなされて、道路上を川のように雨水が流れることはないのでしょうか。 限られた予算・人数・時間で、完全な浸水対策が極めて困難なことをよく承知しています。現状のリスクはリスクとして周知することを期待しています。	本計画における館第一排水区につきまして、内水浸水シミュレーションでは、新座市からの流入を考慮した解析を行い、その結果を踏まえて対策方針を整理しております。 また、館第一排水機場は、下流域への影響を考慮し河川により定められた比流量に基づき排水しており、必要に応じて排水量の調整や運転停止を実施しています。 なお、大雨によるマンホール蓋の飛散防止策としては、館地区の一部では圧力開放型のマンホールの採用しており、対策をすすめております。 新座市におきましては、雨水管理総合計画が策定されており、志木市側へ流入する雨水の影響がある地区について重点的に対策を進める方針が示されています。本市が雨水管理総合計画を策定するにあたっては、新座市からの流入がどの程度志木市に影響を与えているのかを把握するため、館地区の一部で流量調査を実施しました。 次に雨水枡や側溝については、落ち葉や土砂などの堆積が原因で排水が阻害されると、局地的な道路冠水などが起きやすくなることから、定期的な点検・清掃を実施し、雨水枡や側溝の詰まりを減らすことで排水能力が維持されますが、施設の処理能力を超える集中豪雨等が発生した場合には、道路冠水や浸水が発生する可能性があります。 今後も適切な維持管理に努めるとともに、浸水対策を進めてまいります。	○
13	その他	初めてこのような意見書を書かせていただいた者です。乱筆のほどお許しください。 日頃から公報は確認しているのですが、このように市民の意見を聞くために、意見シートがあることを知りませんでした。そして意見を伝えるキッカケを作っていただき、感謝しております。 私はSNS(twitter)を使って災害関連、障害者や高齢者が生きやすいきっかけをつかめるような情報を集めて発信しております。 先月6月2日前夜の大雨時、つくば市TsukubaのCity様がアカウント内で「大雨時は雨水が下水道内に流れ込み、トイレやお風呂、台所などの排水が流れにくくなることがあります。」と記載があり、その後雨が弱まるまでに心がけて欲しいことを発信していました。 私が知るかぎり、このような発信をしている市町村のアカウントはなかったと思います。ぜひ志木市も防災アカウントを作り、市民が災害を最小限にするための知識と情報、防災対策をするとメリットになる対策をとっていきましょう。例えば、大雨時に水をストックするとメリットが生まれ、排水するとデメリットが生まれるような対策。水道料金の調整。 SNSは、高齢者や障害のある方、使い方に不慣れな方は利用が難しいことは理解しています。 たくさんのSNSの中でtwitterには、「リアルな情報を早く発信できること」「検索キーワードが理解できれば必要最小限の情報をピックアップできる」「利用者数もまだまだ多い現状」なので私はtaitterを始めることが良いのではと考えています。(志木市のアカウントは知っています) ①ただ、問題点として、使い慣れない人は、誤った情報を受け取りがちです。 なので、志木アカウントを作ったときには、([災害情報を正しく発信している方])をフォローする、リターンする、ここから始めたらよいのではないかと思います。 ②URLになるべく飛ばさない。 先日の地震の時にもあったことですが、どうしても災害直後はスマートフォンなど通信電波が取得しにくくなります。そういう状況の中でも一画面もしくは、連続の投稿で情報を発信したほうが使っている側は、わかりやすいです。	本市では、災害発生時には市ホームページ、LINE、X(旧Twitter)、防災行政無線など、利用可能な手段を全て用いて、市民へ適切な災害情報等を提供しております。 また、令和7年度からデジタル機器に触れることが少ない高齢者等を対象に、災害時自動架電システム(災害が発生する恐れのある場合や災害発生時に、登録した電話番号へ一斉に架電し、避難情報などをお知らせするシステム)を導入し、誰一人取り残すことがないように、取組を進めております。 さらに、平時には防災講座の実施、広報しきや市ホームページでの防災に関する記事掲載など、被害軽減を目的に周知しております。 いただいたご意見のほか、他の自治体の水害対策や防災情報の発信などの事例を参考にし、水害を軽減できるよう、また、被害を最小限に食い止めることができるよう計画を実行してまいります。	○

		言葉使いも字も汚くてすみません。 総合計画案はひととおり読んだうえで書きました。 志木市に声かけの文化と助け合いの文化が戻ることを願っております。 追記 つくば市Tsukuba cityのアカウントの探し方 ① @tsukubais ②五十嵐立青つくば市長のフォロー内より探す		
14	その他	若駒館の裏のフェンス下の石板が1枚倒れていて、そこから水があふれでる。中学校の排水がつまっていて、うまく排水できていない。	ご意見いただきました地域につきましては本計画24ページの「表14雨水管理総合計画における対策スケジュール」において、短期計画で対策に取り組む予定となっていることから、本市としても重点的な対策が必要であると認識しております。	○
15	その他	雨水管理総合計画の素案について意見を申し上げます。 私は、幸町の福住地区という所に住んで40年になりますが、その中で内水氾濫が、ここ数十年で、いくどとなく、床上・床下浸水被害が発生しています。 これから気候温暖化の影響にてますます雨の量が多くなって、発生する回数が多くなると思います。 私共は中学校の中にある排水通路の排水口の土砂の取り除きや雨水止水板の高さを高くするなどの工事と雨水を一時的に貯蓄する「貯留施設」などの検討をお願いします。 中学校からの水が道路に流れ込むと量も多くなりますので、内水氾濫が起きる度合も多くなると思います。 今まで、何回となく排水口の土砂の取り除きなど、中学校や市役所に要望してきましたが、聞き入れられずこまっていました。 今回、雨水管理総合計画の素案のアンケートがありましたあので、この機会に、再度、中学校からの雨水が市道へ排水されない対策と対応を強くお願い申し上げます。	浸水被害の要因としては本計画の地形状況にもあるように幸町地区の一部、館地区は低地であり、河川に排水するポンプ場もあることから、雨水が集まりやすい地域となっていることに加え、近年多発する局所的豪雨の際にポンプ場から河川への排水量の上限が、河川管理者である埼玉県により定められていることから雨水排水が間に合わないことが大きな要因と考えております。 ご意見いただきました、志木第二中学校及び志木第四小学校の雨水流出につきましては、数年前に流出対策を実施したところではありますが、それ以上に先の要因により、当該地区の雨水排水が間に合っていないことから浸水しているため、本計画にて雨水管渠の改修及び貯留施設の整備等を重点的に行うことにより、浸水被害が軽減され则认为しておりますので、皆さまが安心できるよう早期な整備を目指し計画を実行してまいります。	○
16	その他	素案の1ページに浸水被害の写真が記載されていました。 私の住む志木市幸町3丁目区、特に志木二中と志木四小、その裏側を通る道路がいつも幸町坂上、ニュータウン側、二中と四小の校庭から、大量の雨水が短時間で浸水していまい、床下はいつものことになっています。市には道路わきの排水溝のつまりを、バキュームでの掃除を依頼してきましたが、定期的に見てもらいスムーズに流れる状態にしていきたいと思います。この道路は通学路にもなっています。子どもたちの安全のためにもお願いします。 さらにここにきて深刻なのは、二中の給食室、若駒館周辺が舗装されるという事です。さらに大量の雨水が流れ、今の状況よりも悪化します。計画の中で、深く掘り、一時的に雨水をためる！等の対応を切にお願いします。学校側のことばかり考えずいつも不安に思っている住民の事も考えていただきたいと思います。よろしくお願い致します。		○
17	その他	志木第2中学校の前に住んでいます。 学校の木の落ち葉が排水に溜まり床下浸水をしました。 台風が来る度に土嚢の用意女性がするのは大変です。 台風が来ても安心して過ごせる環境をお願いします。		○
18	その他	私が住む地域では、河川の氾濫ではない水害が過去4回起こっている。 大雨注意報が発令されるたびに、住民は戦々恐々としているのが現状だ。 この問題を解決すべく、治水関係の専門家に検証していただき、あらゆる手立てを講じていただきたい。		○

19	その他	我が家は志木第二中学校の隣幸町側にあり、大雨が降るとマロニエ通りから溢れ出た水が志木第四小学校と志木第二中学校の間の細い道を流れてきて我が家と志木第二中学校間の道に広がり川のようになります。膝まで水は上がり雨水の蓋は浮き上がり車は水没する為大雨予報の度に避難させてます。ここに引っ越してきて8年ですがもう4.5回経験してます。汚水も上がるので水が引いたあとは匂いが残り衛生的にも悪く、翌日には後片付けや市役所の消毒薬の匂いに耐えなければなりません。この道は中学生の通学路でもあり水は一気に流れてくるので登下校中であれば非常に危険です。 台風6号時の報告と早急に行うべき対策 志木第二中学校給食室側にある排水溝には落ち葉や雑草が溜まり雨水の流れを悪くしてます。若駒館側に設置した止水板が1枚倒れてそこから排水出来ない雨水が道路に大量に流れ落ちていました。止水板の修理を早急にお願いします。また雨が止んだ後も排水出来ない雨水で敷地内は池のように水が溜りブロック塀の隙間から水が漏れ出ていました。あのままでは劣化してブロック塀が道路側に崩れ落ちる危険があります。繰り返しますがここは通学路です。 雨水管理総合計画に関する要望 1. 志木第四小学校プール側と義務教育学校教職員用駐車場の地下に貯留施設を造る。 志木第四小学校は今年度で廃校になるのですぐに工事出来ます。またマロニエ通りから溢れた水はプール側の道路を通過して住宅街に流れ込むのでここに貯留施設があれば水害を防ぐ事が出来ます。 義務教育学校の教職員用駐車場を水が上がってくるマロニエ通り沿いに造るのは本末転倒です。志木第二小中学校の間の通学路も水が上がってくるのでマロニエ通りを渡ってニュータウンに行くこともできませんし車は水没します。志木第二中学校のプール跡地を駐車場にするのであれば土台を高くし地下に貯留施設を造るべきです。 過去の水害を検証し、これからの大雨にも耐えられる規模の貯留施設を造ることを希望します。 2. 志木第二中学校給食室側敷地と志木第二小中学校間の通学路の定期的な清掃。 志木第二小中学校間の道路は複数の排水口がありますが落ち葉で塞がれています。植木が覆い隠れる程雑草が生え子供達の通学路にはふさわしくありません。ここは今では学校の敷地になっています。学校や市役所の責任で定期的に清掃をし、排水しやすくすべきです。	○
20	その他	幸町3丁目に住んで47年ですが、何度も冠水、浸水を身近に見てきました。 幸町3丁目地形的に久保地区、大塚地区からの雨水が上地区から幸町3丁目の下地区に流れてきますので、中間の側溝、グレーチング等の清掃を定期的に行い、排水を出来るだけ、下地区に流れを軽減策をしてほしいです。 学校(志木四小、志木二中)の校庭、グラウンドの雨水が市民の方に排水してくるのか。道路より地形高く低い市道の方に流れてきますので、排水整備するか、二小校庭のように貯留をするようにはできないのか。 公共施設の清掃及び整備を短期的にできることを考えてほしいです。	○

21	その他	道路冠水で本当に困っています。志木市に住んでまもなく50年になります。昭和57年(1982年)多分、夏だったと思います。すごい雷雨で家の前の道路があっという間に冠水しました。市内のあちこちもそうだった様で、市の広報のスピーカーからサイレンが鳴り「〇〇地区、〇〇地区は避難してください」と放送が流れました。この時が初めての冠水被害で本当に水の怖さを知りました。それから大雨になると雨水がさばけなくなるのか冠水してしまう状態が今まで4～5回あります。 冠水している道路に車が侵入してきて、津波のような波になり玄関ドアのガラスが割られたお宅、車庫のシャッターが壊されたお宅、可愛がって育てていたメダカの水槽も育てていたお花の植木鉢もあっという間に流されました。これは誰に訴えればいいのか～と被害にあったご近所の方達と話しました。泣きました。 この時を経験しているからそれからはご近所の方達と雨が降る中、冠水している道の交差点に立ち「車入らないでくださ～い」とドライバーに声をかけています。被害に合わないようそうするしか守る道がないのです。 なぜ道が冠水するのか？の1つの理由でもあるのが志木二中と志木四小から流れ出る雨水です。志木二中のロータリーの職員駐車場を何年か前に整備しました。(駐車場に雨水が池のように溜まるからです。) 整備後、職員駐車場には雨水が溜まらなくなりましたが、その雨水がうまく排水できずに二中の敷地から外の道路に流れ出てしまうようになりました。一応排水溝があるのですが、これが役に立っていないのです。 確か1,000万単位の工事だったと記憶していますが、おかげで地域の市民が被害を被っている状態です。地域の人は「これは失敗作だね」と話しています。 またもう1つはクローバー門の作りです。これもまたグランドに溜まった雨水が滝のように外の道路に流れ出ています。 この志木二中と志木四小の状況を市役所の方はご存じでしょうか。一度大雨の時に見ていただきたいです。 学校敷地内に降った雨水を地域の道路に流している状況なのです。 学校の敷地内の雨水は学校敷地内で処理してほしいです。 なぜ地域が被らなければいけないのでしょうか？志木二小は調整池のようになり、雨水を貯めるようになっているようですが、志木二中、志木四小はどうもなっていない様に見えます。 排水溝を作っても泥や枯葉が溜まり草や木が生えている状態です。 定期的に点検と泥やゴミの撤去をお願いしたいです。 冠水被害のない方達には、私たちの気持ちがわからないと思います。 梅雨や台風等で大雨になると天気予報で知らされるとこの地域の人たちは身構えます。 重い土嚢を運ぶのも大変です。 年をとり精神的、肉体的にも大きな負担です。 うまく書けませんでした。少しはわかっていただけでしたでしょうか？ 2016の冠水の写真貼付しておきます。	○
----	-----	--	---

22	その他	雨が降る度、浸水の心配がつきません。 今回、二中の周りの雑草を整備された様子、感謝していますが、1週間で、もう雑草がたくさん生え始めている現在の日本の気候です。このような手入れを、せめてひと月に一度は実施していただかなくては、現実には豪雨が降った際の被害を防ぐことは難しいと思います。今回、整備をしていただいて、やっと、二中の周りに設置していただいている排水路が姿を現したような現状です。 住民が少しでも安心して住めるよう、定期的な管理をお願いします。 今回の除草作業の様子を拝見していても、一人の方に任せきりであること、とても熱心にしっかり除草されていましたが、こういった仕事を一人の方に何日もかけて任せてよいのでしょうか？大きな疑問です。 繰り返しますが、除草作業を定期的に行うこと、節にお願いいたします。	○
23	その他	【「館第一排水区」の状況について】 志木第二中学校区の3校周辺市道は、内水氾濫が繰り返し発生し、指定緊急避難場所、主要通学路及び避難経路が集中する地区であることから、雨水管理総合計画において重点的に検討されるべき地区であると考えます。 志木第二中学校区は、令和8年度より「志木の森学園」として小中一貫校となる予定である。その周辺の通学路では降雨時に冠水が繰り返し発生しており、地域住民は長年にわたり危険性を訴え、市へ安全面の懸念を相談してきた。 特に、志木第四小学校クローバー門付近の市道は、周辺より地盤が低く、幸町方面の坂上及び志木ニュータウン方面から雨水が流入することにより、内水氾濫が発生しやすい状況にある。地域住民の認識で、本地区の中でも特に浸水が深刻な箇所の一つとなっている。 また、2027年度からは、志木第四小学校クローバー門付近の市道が幸町方面の児童・生徒の指定通学路となる予定であり、さらに午後には学童への移動経路や一部部活動で利用する中学生の移動経路としても使用される予定である。 まとまった降雨時には、短時間で水深が大人の膝付近（深い箇所では約70cm）に達する状況が発生しており、児童・生徒及び地域住民の安全確保は喫緊の課題である。また、浸水が長時間継続した場合には、物資運搬車や給水車の通行にも支障を来し、避難所へのアクセスや災害対応にも影響を及ぼすおそれがあることから、防災の観点からも排水環境の整備及び浸水対策を早急に検討する必要があると考えます。	○
24	その他	雨水貯留施設の整備について 素人考えではありますが、「館第1地区」の抜本的な浸水対策として、今後予定されている小中一貫校の整備に合わせて、校庭などの一部を活用した雨水貯留施設（遊水地や地下貯留施設等）の整備を検討できないでしょうか。 地盤や施工上の課題など専門的な点は分かりませんが、短時間に集中する豪雨が増えている現状では、一時的に雨水を貯留できる施設が必要ではないかと考えます。 以上、専門的な知識のない一市民としての意見ではありますが、実際に冠水を経験した住民として、日頃から浸水への不安を抱えています。今回、このような意見を述べる機会を設けていただいたことに感謝するとともに、館第1地区の浸水対策をできるだけ早期に進めていただくことをお願いいたします。	○

25	その他	【公共施設を活用、連携した雨水貯留対策について】 国土交通省の「雨水貯留浸透施設整備に係る事例集」では、学校、公園等の公共施設を活用した雨水貯留施設、地下貯留施設、浸透施設、透水性舗装等を組み合わせ、公共施設の整備・更新と一体的に雨水流出抑制を図る取組が紹介されている。また、流域治水の観点からも、公共施設を活用した雨水貯留・浸透施設の整備は有効な対策の一つとして位置付けられている。 志木第二中学校区は、指定緊急避難場所が集中し、その周辺道路は児童・生徒の主要な通学路であるとともに、災害時には避難経路として利用される重要な市道である。しかし、まとまった降雨時には繰り返し冠水が発生し、近隣住宅への浸水被害や、児童・生徒及び地域住民の安全確保に大きな影響を及ぼしていることから、雨水管理総合計画において重点的に対策を検討すべき地区と考える。 志木第二中学校区においては、現在、小中一貫校整備に伴う施設再編が進められており、志木第二小学校、第二中学校では令和８年度に敷地の一部を駐車場として整備する工事が予定されている。また、志木第四小学校及び志木第二中学校のプールについては、今後使用されないことが想定されている。 このような公共施設整備の機会を活用し、例えば次のような雨水流出抑制対策について検討いただきたい。 ・学校敷地内への雨水地下貯留施設、貯留管又は小型貯留施設の整備 ・使用予定のないプール施設等を活用した雨水貯留施設への転用 ・駐車場整備に合わせた透水性舗装や浸透施設の導入、地下空間を活用した貯留機能の付加 ・学校敷地内で雨水を一時的に貯留又は浸透させることにより、隣接市道への排水負荷を軽減する仕組みの検討 本地区は、指定緊急避難場所、主要通学路及び避難経路が集中する地区であり、地域住民の日常生活及び災害時の安全確保に直結する地区であることから、防災、道路、下水道及び教育施設整備の各部門が連携し、雨水管理総合計画の具体的施策として位置付けていただくことを要望する	○
----	-----	--	---